

THE KOBECCO

NOVEMBER '93 No.391



月刊神戸っ子 11

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
1993年11月1日印刷 通巻391号
1993年11月1日発行 毎月1回1日発行



●小磯良平肖像画シリーズ
「K夫人像」

華やかに開幕!
コートリーグ。

街を、都会をスタジアムにして、
女性たちのコートリーグが、始まる。
ベニヤでは、熱き視線と喝采が起こる、
この冬一番の
コートコレクションを開催中。

会員募集中!!

*うれしい特典がいっぱいのベニヤメンバーズカード。



 **BENIYA**
KOBE OSAKA TOKYO

KOBE ● 本店 ● エルベ店 ● ベージュ店 ● ウイング店
● さんちか店 ● イヴ・サンローラン店
● 西神ブレンティ店 ● ウイングハーバーランド店
OSAKA ● 三番街店 ● ミナミ店 ● 近鉄店
TOKYO ● 銀座店 ● 自由ヶ丘店 ● 日比谷店

●全店コートコレクション開催中!!



秋の実りを愛しむ
光のようになでやかな、
ジュエル・エクスター。

田崎真珠

本社

〒650 神戸市中央区港島中町6-3-2
TEL. (078) 302-3321

東京本社

〒107 東京都港区赤坂1-4-1
TEL. (03) 5561-8856

札幌・仙台・東京・成田・千葉・横浜・名古屋・京都
大阪・神戸・松山・広島・北九州・福岡・大村・長崎



ペンダント／Pt・K18・南洋真珠・メレダイヤ／デザイン・制作 加藤幸保



そのいろは
貴女のいろ

JEWELRY タジマ
神戸元町2丁目 TEL.078(331)5761



神戸文化ホールにて笹山幸俊神戸市長により点灯された“文化の灯”。

このモニュメントは、アーバンリゾートフェア神戸'93の開催と神戸文化ホール開館20周年を記念して、彫刻家の新谷英子さんによって制作されたもので、神戸の文化が、これから一本の木の様に根を張り、幹や枝を伸ばして大きく育ってゆくことをイメージしてデザインされたものです。

今後の新たな神戸文化の発展・創造を願い、“文化の灯”は永遠に灯し続けられます。

財団法人 神戸市民文化振興財団

神戸文化ホール

番650 神戸市中央区楠町4丁目2番2号 TEL..(078)351-3535

本田 幸子

イズム

ISMを着る

同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽専攻卒業。井上和世氏に師事。大学在学中、学内アンサンブルクラスによるオペラ公演「フィガロの結婚」にバルバリーナ役として出演。

現在、同志社女子大学音楽学会「頌賛会」特別専修生。

ディア プリンセス
三宮センター街店 078-332-1847
〒650 神戸市中央区三宮町1-6-18
アステシオ元町店 078-322-0761
〒650 神戸市中央区元町通1-8-1
JR 大阪駅店 06-346-7621
〒530 大阪市北区梅田3-1-1ギャレ大阪
新神戸店 078-222-3637
〒650 神戸市中央区加納町2-1-5
神戸北野店 078-222-2818
〒650 神戸市中央区山本通2-9-17
芦屋店 0797-34-2060
〒659 芦屋市大原町28-1ベルティ芦屋
仁川店 0788-51-1972
〒662 西宮市仁川町2-4-13ベルドール仁川1F
神戸垂水店 078-706-1558
〒655 神戸市垂水区神田町2-9松林ビル1F
福岡天神店 092-731-5610
〒810 福岡市中央区天神2-7-18

 MAISON D'ARTISAN
ISM GROUP
神戸市中央区布引町1-1-10
(078)222-3641

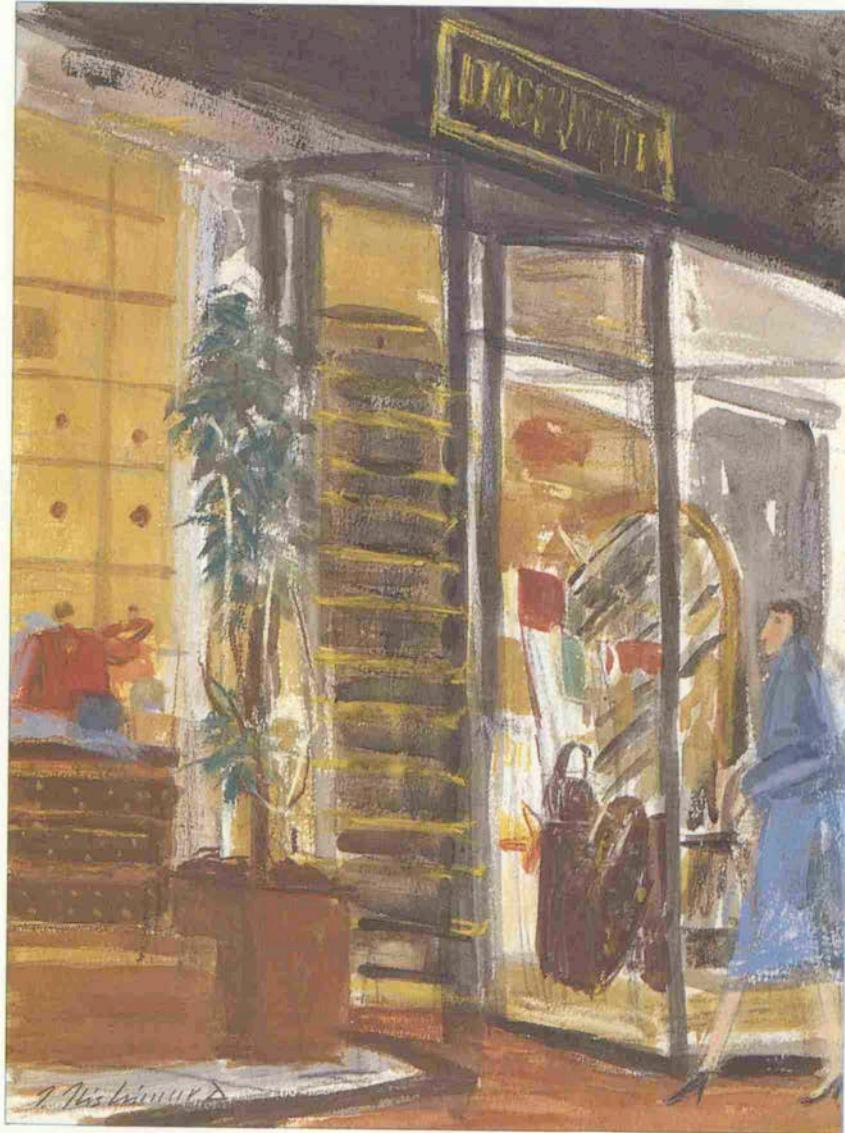


アースインターナショナル
スーツ / 43,000円
撮影協力 / ジャン・ムーラン

Second Cover ● 街の風景(44)

ルイ・ヴィトンの店 (1963年)

西村 功



HARUMI FUJIMOTO



“流れる季節に”
藤本ハルミ作品集

日本の伝統美きもの地を素材にモダンな洋服づくりを25年
積み重ね、今そのライフワークを作品集として処女出版！

■作品集によるファッションパーティ

12月14日（火）P.M. 6:30～9:00

於／新神戸オリエンタルホテル真珠の間
チケット ￥20,000（作品集を含む）

作品集内容／Part I 月刊神戸っ子連載の作品とエッセイ “季節の女”

Part II 25年間の代表作品とパーティドレス集

Part III 対談／田辺聖子・新井満・森美代子

出版と主催／月刊神戸っ子 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F

お問い合わせ TEL 078（331）2246 FAX 078（331）2795



kansin street gallery <56>

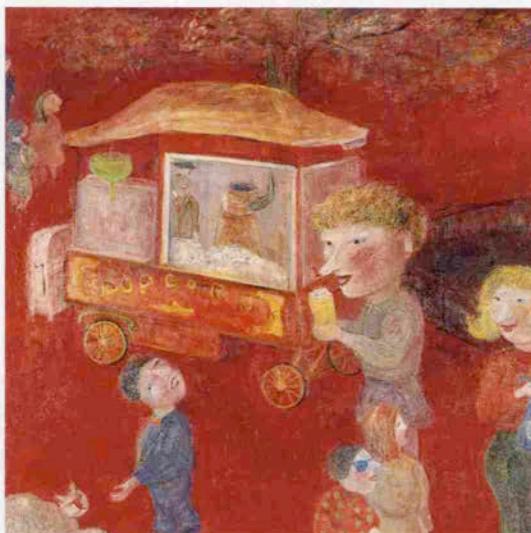
—世界の街角シリーズ—

第11回 八木茉莉子



生田新道に面したストリートギャラリー

“ときめきパンクかんしん”は「共感・対話・信赖」を企业理念として、地域の文化・芸术の育成に努めています。この“かんしんストリートギャラリー”も芸术の香りをはのかに漂わせたアートスポットとして、本年は、世界の街角シリーズと题し、世界の街角の風景を描いた作品を绍介してゆきます。



ある日<ロサンゼルス・ディズニーランド>



やぎ まりこ
(洋画家)
大阪府豊能郡在住

黒い、白い、太い、ほとんどが原色のスエットスーツ姿の人達でいっぱい、チョコレートで出来た様なカラフルなお城。中に入ると、人形達の歓迎声、ぬいぐるみの行進、すべてがまるでオトギの国の夢の世界。ポップコーンをほおばりながらしばし童心にかえったひとときでした。



関西信用金庫

神戸市中央区下山手通2丁目12-3 〒650
PHONE (078) 332-5151 Fax (078) 333-9874



秋色に染まる光の雫



Pearl Communication

KINOSHITA
PEARL
CO., LTD.

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1-7-7(北野坂)
TEL (078) 221-3170 FAX 0120-08-0487(フリーダイヤル)
10:00 a.m. ~ 6:00 p.m. 無休 東京 / 銀座 大阪 / 心斎橋

水のように軽く

馬淵 よしの

よしの

(タレント) カメラ・米田定藏

「高飛込」は好きではなかった。遊びたい盛りだつたし、母に対する反発もあった。「このままだと高飛込を止めぐれてしまう」と心配した母のすすめもあつて、アメリカテキサス州マカラハイスクールへ留学。ロバート・レッドフォード似のコーチのもとで練習を続け、「84ロスオリンピックでは高飛込で9位に。しかしそれまで目標にしていた対象がなくなり、いわゆるパンチアウト・シンドローム(燃え尽き症候群)に襲われ何もやる気が起きなくなつてしまふ。」

とりあえず大学には入つたが、興味が持てなかつた。かといって仕事をするにもそれまで自分がいた環境を考えると普通のOLは勤まるかどうか不安だつた。そんなときタレント事務所からスカウトされ、東京へ。「選手の頃はマスコミ嫌いだったのに、因果なものですね。現在「ハロー！コウベ」「サンテレビ」や「わいわいサタデー」(ABC)、「リゾートの風」(テレビ和歌山)の司会やリポーターとして活躍する馬淵さんは、この10月に約7年住んだ東京を離れ、神戸に引っ越ししてきた。番組の収録のため毎週末神戸に通ううち、タクシーから見た神戸の夜景がきれいで、ふと住んでみたいなと思い、決めた。「思い切つたら早いんです。飛込みたいに瞬発力ができるのがあつていい」と語る彼女はこれからどのように変化していくのだろう。



女たちシリーズ第4弾！

女優が男を演じて、その「怪演」ぶりを絶賛された「女たちの十二夜」がニューバージョンとして再び登場。

キャスト
 円城寺あや
 山下裕子
 白石加代子
 高畠淳子
 片桐はいり
 内野聖陽
 生瀬勝久
 松本留美
 小川範子
 青山雪菜
 鈴木裕美

11月14日（日）前売開始

新神戸オリエンタル劇場チケットセンター
 078-291-9999

10:00A.M~7:00P.M

2月	5	6	7	8	9	10	11	12	13
土	1:00	2:00	2:00	2:00	2:00	2:00	1:00	2:00	2:00
日									
夜	5:30				7:00	7:00		5:30	

全席指定

S席（1、2階席）6,000円

A席（3階席）4,000円

ハイスクール・スタンバイ 2,000円
 (当日券、中高生のみ、但し土、日、祝日の公演は除く、学生証提示要)

お得なランチ・ディナー・宿泊パックチケットあります。



ドラマ「白石加代子」



アーティスト「山下裕子」



ドラマ「白石加代子」



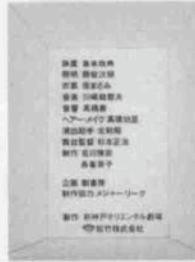
ドラマ「白石加代子」



ドラマ「白石加代子」



アーティスト「山下裕子」



脚本 佐木尚典
 監修 齋藤次郎
 世界 佐藤正人
 音楽 佐藤正人
 照明 木村義人
 作曲 木村義人
 ハーモニカ 高橋功基
 演出助手 佐野和也
 音效監督 佐藤正法
 制作 佐藤義人
 着付 佐藤義人
 ヘアメイク 佐藤義人
 プロダクションマネージャー
 制作担当 木村義人
 製作担当 木村義人
 製作担当 木村義人



ドラマ「白石加代子」

「より華やかに、より楽しく、より騒がしく」

女たちの十二夜

作 W.シェイクスピア 訳 小田島雄志 演出 鶴山仁

1994.2.5 (土) ⇒ 13 (日)

新神戸オリエンタル劇場
 新神戸オリエンタル劇場
 新神戸駅前ビル地下鉄新神戸駅・地下鉄新神戸駅上



アーティスト「山下裕子」



アーティスト「山下裕子」



ドラマ「白石加代子」



アーティスト「山下裕子」

○神戸つ子'93

JCI世界会議に向けて——永田耕一

（株）永田良介商店社長・JCI世界会議委員長

カメラ・米田定蔵

'94年11月11日から20日まで開催される、JCI（国際青年会議所）世界会議神戸大会の実行委員長を務める。海外から約百カ国・地域5千人、日本を含め総勢1万7千人の会員のまとめ役として、諸事の準備に忙しい。

「神戸は、都市機能の中枢やコンベンション機能が一ヵ所にまとまっているからいいんですよ。街のサイズがいいっていうのかな。ただ、今回のように何千、何万という人数になると、もつと大きな会場が必要だし、それだけの人が食事をとれる場所もいるんです。」

この点が、神戸が“コンベンション・シティ”となるための課題であり、今回のJCI世界会議がいい意味での実験台になれば、と忙しい中、神戸の街について考える。

「この世界会議をJCIの内輪だけのもので終わらせたくないんです。例えば“ジヤズ・ストリート”や“秋の芸術祭”“グルメ・プロムナード”など、秋には神戸らしい催しがたくさんあるでしょう。それらをまとめて、神戸の秋の祭りを作つて、たくさんの方に神戸に来てもらつて、のんびりと“神戸ホリデー”を楽しんでもらいたい。そんなことのきっかけとして、JCIがやつたことを街に残したいんです。」

来年40歳を迎え、JCIを卒業。世界会議大成功という素晴らしい卒業論文が提出されることだろう。





ある集い ■国画会作家展

充実した
山口 静治

国画会は大正十四年に結成された歴史ある公募団体展であるが、神戸に展覧会が巡回して来ないこともあって一般にはなじみが薄いところでもあった。そこで神戸在住の国画会員が勉強会も兼ねて地元での展覧会をしようということになりこの会が発足した。

出品者は会員、会友とその年の東京での入選者に限定し、できるだけ質の高い展覧会を目指している。従つて春の国展に落選するとその年の神戸作家展への出品資格を失う訳で、非常に厳しい会ではあるが、会の雰囲気は温かく、和氣藪藪としている。これもまとめ役である絵画部の梅宮馨四郎、版画部の川西祐三郎、両氏の人柄がそうさせるのだろう。十二回目を迎えた今回は絵画部十五名、版画部三名の十八名で、構成人数としてはそんなに多くはないが、夏の京都での関西国展ではこの会の一般出品者のほとんど全員が受賞する等、確実な歩みをしていると自負している。

今後はより充実した展覧会を目指すと共に、出品者がもっとと増えていくよう魅力ある会づくりに、努力していきたいと思っている。

■問い合わせ先
〒653 神戸市長田区宮丘町一の四の一八
国画会兵庫事務所 山口 静治
(〇七八) 六二一一四七一三



ある集い ■ 神戸洋画会

神戸洋画会展

第十六回展は、さんちかギャラリーとギャラリーあじさいで十月二十一日同時開催となりました。大作一点と小品一点を持ち寄り、両会場の陳列を済ませ、総会を兼ねた集まりの面々です。

出席者は、石阪春生、岩瀬憲一、上尾忠生、梅宮馨四郎、大垣泰治郎、大西江二、片山直、龟井貞雄、高崎研一郎、中西勝、西村功、山田文宏。

顧問の伊藤誠さん、ギャラリーあじさいの中院俊子さんの顔もみえます。

◇ギャラリーあじさいにて

●神戸つ子同窓生交歓



後列左より鷺尾和子さん、小倉多恵さん、藤枝義子さん、井上文子さん。

前列左より伊藤椿子さん、永田典子さん、今井勲子さん、豊岡久美子さん、佐々木京子さん、水上君子さん。

親和高女 “つくし会”

私達親和高女三十八回生、“つくし会”は、毎年同窓会を開いている。今年も五月に集つた。戦時中、学徒動員令により、工場で働き、空爆の下を逃げ回つた時を共有する先生と私達は、お互いをいとおしむ心が強いようだ。今年はもう一度、今井さんのリサイタルが、ミニクラス会となつた。今井さんを、同期生と云つて紹介するのは、少々気後れがする。芸術家に年はないのだから。おなじように、家庭・子育てと、時を経ているのに、何といつまでもみずみずしく美しい事か。天性は勿論ながら、やはり弛まぬ努力と精進に違いない。“年だから”と開き直る私達に、“喝”を入れられた日でもあった。今回、プログラム中の“古諸なる古城のほとり”は、本当になつかしい思いであった。この詩は、国文の授業で、故出口八重先生から「云葉、七五調の韻律の美しさを教わり、情感のこもつた朗誦も聞かせて頂いた。同時に、音楽の出口先生（後に八重先生と御結婚）に、歌曲として教わった。そして今回、先生の愛弟子である今井さんの美声と歌唱力によって、絶品の藤村詩を聞かせて頂く事が出来た。感無量であった。先生御存命ならば、どんなにお喜びになられた事かと、涙があふれた。大輪の花のような今井さん、歌に生き愛に生き、いつまでも歌い続けて下さい。心から拍手を送ります。



日本のハールプリンセス太田圭紀さんと。
'93USパールプリンセス来日

全米、500人以上の中からU.S.P.P.に輝いたローラ・デイワイエルドさんが来日。その歓迎パーティーが10月19日、ホテルオークラで行われた。



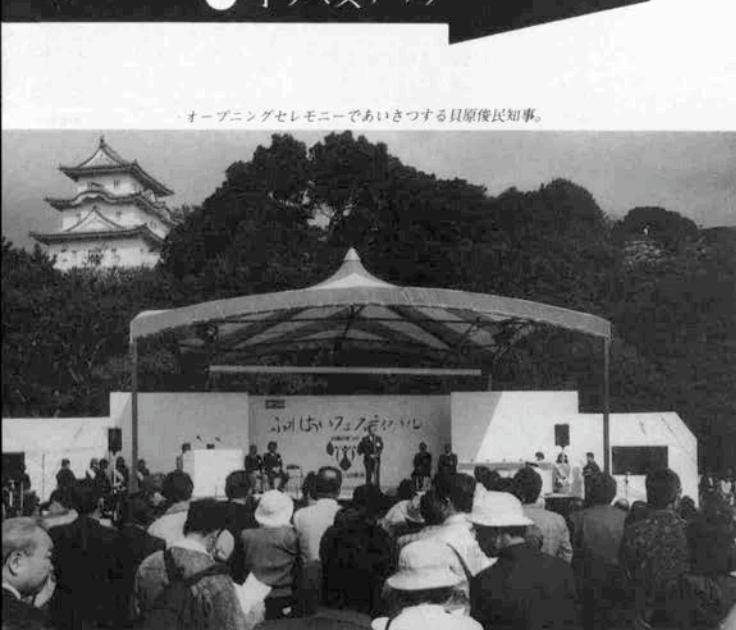
再選後初登庁し、職員の歓迎を受ける。

神戸市長に笹山さんが再選

10月24日、任期満了に伴う神戸市長選挙が行なわれ、笹山幸俊氏が再選された。「ぬくもりと活力ある街作り」に向けての今後の活動が期待される。



笹山 幸俊氏



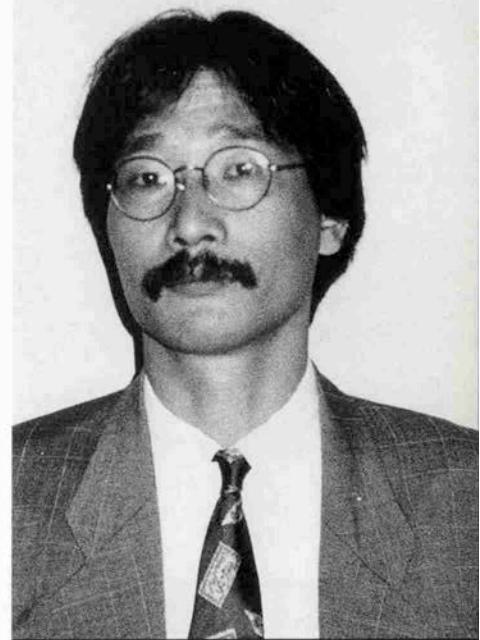
オープニングセレモニーで挨拶する貝原俊民知事。



快適環境フェアでは環境問題に対する提案が

兵庫の祭り。
夢のある暮らし
に向けて

「第5回ふれあいフェスティバル」が「環境夢空間—新らしいライフスタイルの創造」をテーマに10月23、24日、明石公園で行われた。会場内には環境問題、スポーツ、食などをテーマにしたさまざまなイベントが組まれ沢山の市民で賑わった。



ART KOBE

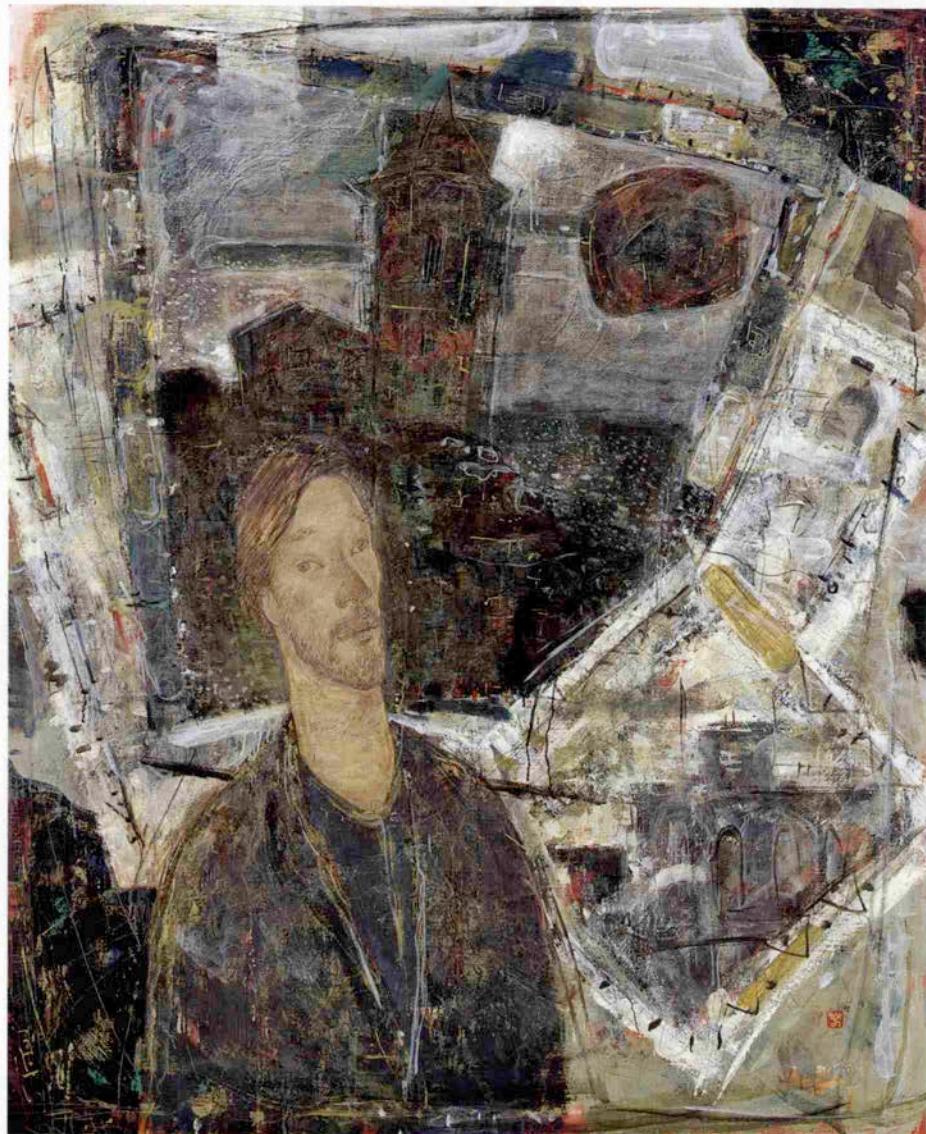
榎並和春

手仕事のつみかさねから生まれる

今の若い人にとって、一番興味ある、表現活動というのは何だろうか。たぶん音楽だと思う。音楽は直接感覚に働きかけ、そして気持ちよくしてくれる。音楽を聞くとき、これは芸術だ、これは芸術でないと考えて聴く人はいない。音楽は今の所、充分にその存在場所を確保している。

表現芸術としての絵の場合はどうであろうか。たぶんに表現芸術としての役割は終りつつある気がしてならない。一つは全くデザイン化して、商業と結びついた表現。一つは写真、印刷と結びついて、コンピュータ・グラフィックス、などとも関係をもちながら、マスコミと結びついた表現。もう一つは、絵ではないが、TVとの関係、ビデオなどの映像表現。純粹な絵画表現というのは、今の所伝統工芸的な生き残りの方法しかないのかと危惧している。

ただ一つ言えることは、それら前者の表現は、すべて情報としての意味合いが強いということで、デジタル的な、二進法的情報処理能力だけが問われているような気がしてならない。人が新しいものを生み出し、クリエイトすることに喜びを感じる動物とするなら、その情報を処理することだけでは新しいものは生み出されない気がする。無から有をつくり出す真の創造は、もつと原始的な、言いかえれば、アナログ的な手仕事のつみかさねから、生まれるような気がするのだが、いかがなものか。



【経歴】

山梨県甲府市在住(出身:神戸市垂水区)
山梨大学美術科卒業
山梨県立甲府工業高校・県立園芸高校
美術科 講師 (園芸会所属)

【主な受賞歴】

山梨美術協会協会賞受賞(昭55)
山梨県芸術祭賞受賞(昭61)
山梨県新人選抜展一山梨県立
美術館賞受賞 賞品收藏(平4)
第2回JAPAN大賞展佳作賞(平4)
国画会新人賞受賞(平5)

*その他入選歴多数。
東京・山梨で個展10回開催

【コメント】

海岸通りを、あてもなく歩くのが好きだった。他に行き場もなく、何かと言っては、フラフラと海岸まで下った。
最近神戸の街のことをよく思う。たぶん少年時代を懐かしむ年になったのだろう。

◀「印象・神戸」絵画展
大賞受賞作品
「海と私と六角堂」